

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成25年度～平成29年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（くまがわ） 球磨川森林計画区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>球磨川森林計画区は八代市、人吉市、水俣市、八代郡、葦北郡及び球磨郡の3市7町5村に位置する37,063haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林62%、天然林38%となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹ではシイ類・カシ類となっている。</p> <p>当該計画区は、熊本県の南部に位置し、国見岳及び市房山等の形成する九州中央山地西側の球磨川源流部から河口部に分布している。また、水源かん養保安林が全体の89%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、渓谷豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な森林資源に恵まれ、登山などの森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されている。さらに、従来よりスギ・ヒノキの人工造林が盛んで、木材産業が高度に発達し、地域の重要な産業となっている。</p> <p>このようなことから、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源のかん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全及び森林のふれあい等、森林の持つ多面的な機能の発揮が重要となっている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p>																		
	<table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>487ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>14,938ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>34.1km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>9.7km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	487ha			保育面積	14,938ha		路網整備	開設延長	34.1km			改良延長	9.7km
主な事業内容	森林整備	更新面積	487ha																
		保育面積	14,938ha																
	路網整備	開設延長	34.1km																
		改良延長	9.7km																
	<table border="0"> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,348,596 千円</td> </tr> </table>			総事業費	3,348,596 千円														
総事業費	3,348,596 千円																		
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総 便 益 (B)</td> <td>39,519,669 千円</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td>4,817,881 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>8.20</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	39,519,669 千円	総 費 用 (C)	4,817,881 千円	分析結果 (B/C)	8.20										
総 便 益 (B)	39,519,669 千円																		
総 費 用 (C)	4,817,881 千円																		
分析結果 (B/C)	8.20																		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	費用対効果分析の結果、定性的な評価の結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

様式1

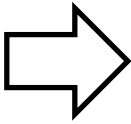
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備
施行箇所：球磨川森林計画区

都道府県名：熊本
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,861,359	
	流域貯水便益	3,166,176	
	水質浄化便益	6,702,173	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,266,986	
環境保全便益	炭素固定便益	3,853,251	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	822,369	
	木材利用増進便益	208,850	
	木材生産確保・増進便益	4,393,852	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	713	
	森林管理等経費縮減便益	20,973	
	森林整備促進便益	1,222,519	
維持管理費縮減便益		448	
総 便 益 (B)		39,519,669	
総 費 用 (C)		4,817,881	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{39,519,669}{4,817,881} = 8.20$		

森林環境保全整備事業 球磨川計画区(熊本県) 事業概要図



対象計画区拡大図

